

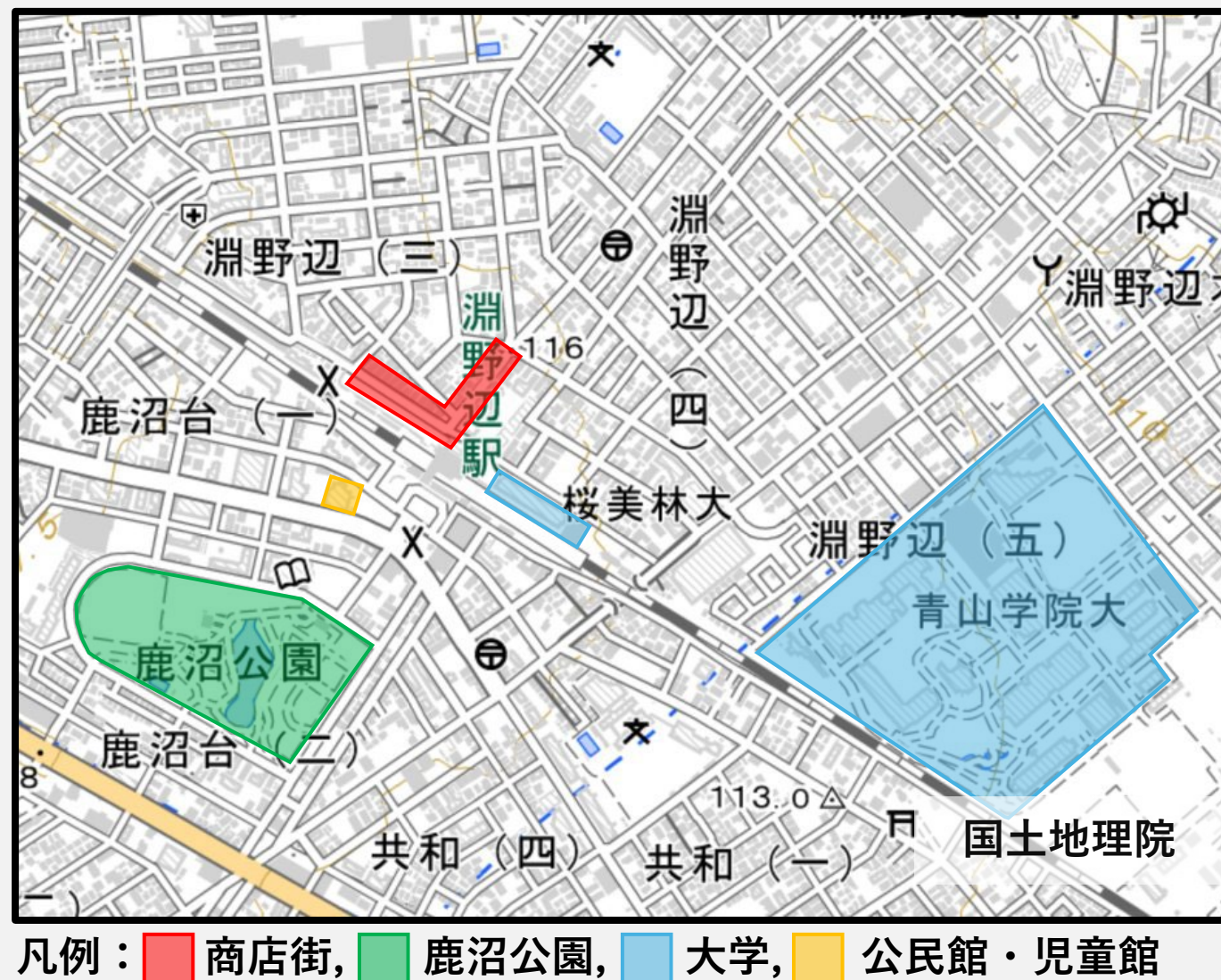
ふちのべのわ 世代間リレー

日本大学理工学部まちづくり工学科3年 3班

【現状・課題】

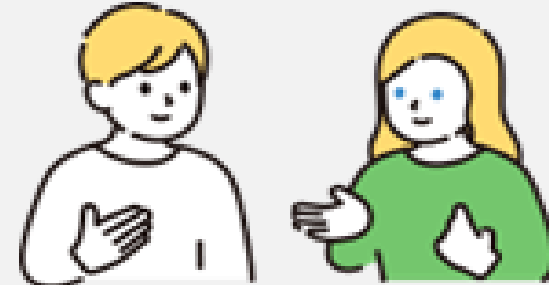
- ・世代間コミュニティの希薄
- ・子育て世代の孤立
- ・地域イベント等を周知させる力が弱い
- ・商店街に訪れる人が少ない
- ・コミュニティの循環がない

【淵野辺エリアマップ】



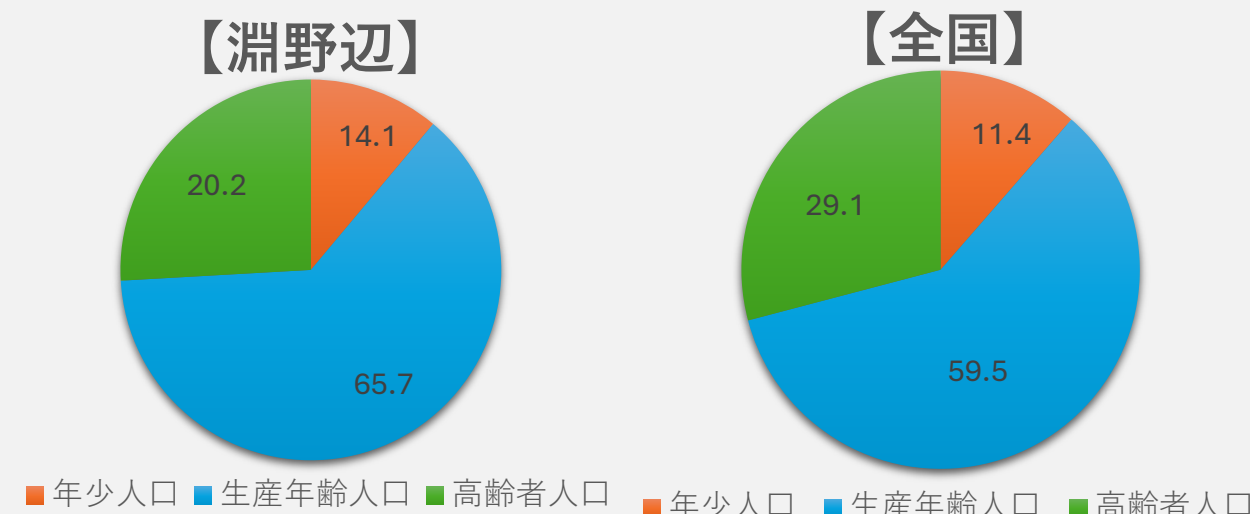
【ヒアリング・調査】

住民意見より



- ・人が滞留・交流できる拠点が欲しい
- ・各種イベント等の取り組みについて改善してほしい

年齢別人口構成比



【提案内容】

循環型コミュニティの形成

世代が変わっても
残続けるコミュニティ



〈事業スキーム〉

大野北社会福祉協議会

相模原市淵野辺地域にある社会福祉協議会。非営利の社会福祉法人で、現在は車いすの清掃や貸し出しなどの事業を行っている。

商店街、高齢者施設、株式会社こみふくと共同で事業を進めていく。また、大学生や小中学生へセミナーを開催する。

大野北
社会福祉
協議会

商店街

商店街

駅北側に伸びる商店会
フリーマーケットの運営やポイントカードの配布を行う

株式会社
こみふく

株式会社こみふく

淵野辺にある子育て支援施設を運営する企業
子育て支援事業の運営を支える

高齢者
支援施設

高齢者支援施設

多世代交流イベントの運営主体となり、高齢者へのイベント参加を促す

知る

集う

繋がる

移る

Step 1

既存コミュニティの周知

Step 2

コミュニティ形成

Step 3

多世代連携

Step 4

循環型コミュニティの形成

【内容】

【関わる人】

【具体例】

ひばり放送

ポスターの掲示

公式SNS運営

小学校での講演会

公民会内での
広報スペース作成

【市役所】

放送依頼
内容・時間伝達

【駅】

子育てコミュニティポスター
掲示作成・掲示依頼

【社会福祉協議会】

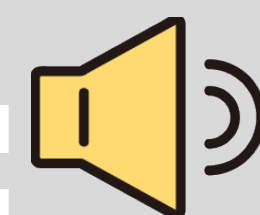
公式SNSによるイベント告知

【学校】

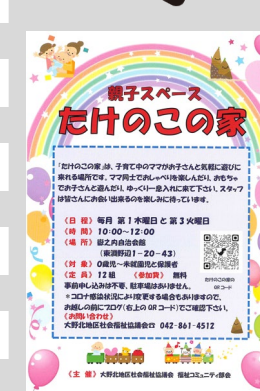
講師・開催日時策定
講演会周知活動

【社会福祉協議会】

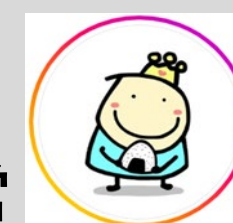
駅貼りポスターの掲示
パンフレット配布



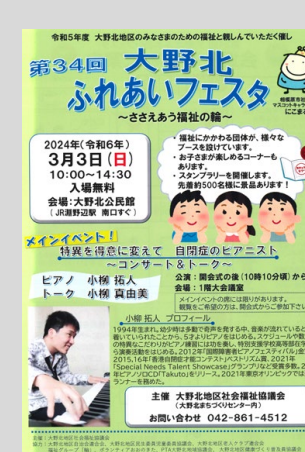
〇月〇日にイベントを行います！



子育てコミュニティポスター
作成・掲示



SNS運営



講演会の開催



パンフレット配布

出典：相模原市社会福祉協議会HP

知る

集う

- ・子育て相談会
- ・フリマ開催
- ・ポイントカードシステム



- ・市＝場所の提供
先輩ママ＝アドバイザー
- ・種店街＝主体
地域住民＝開催の協力者
- ・商店街＝きららカードの利用



出典：ふちのベキララカード会HP



フリマの
イメージパース

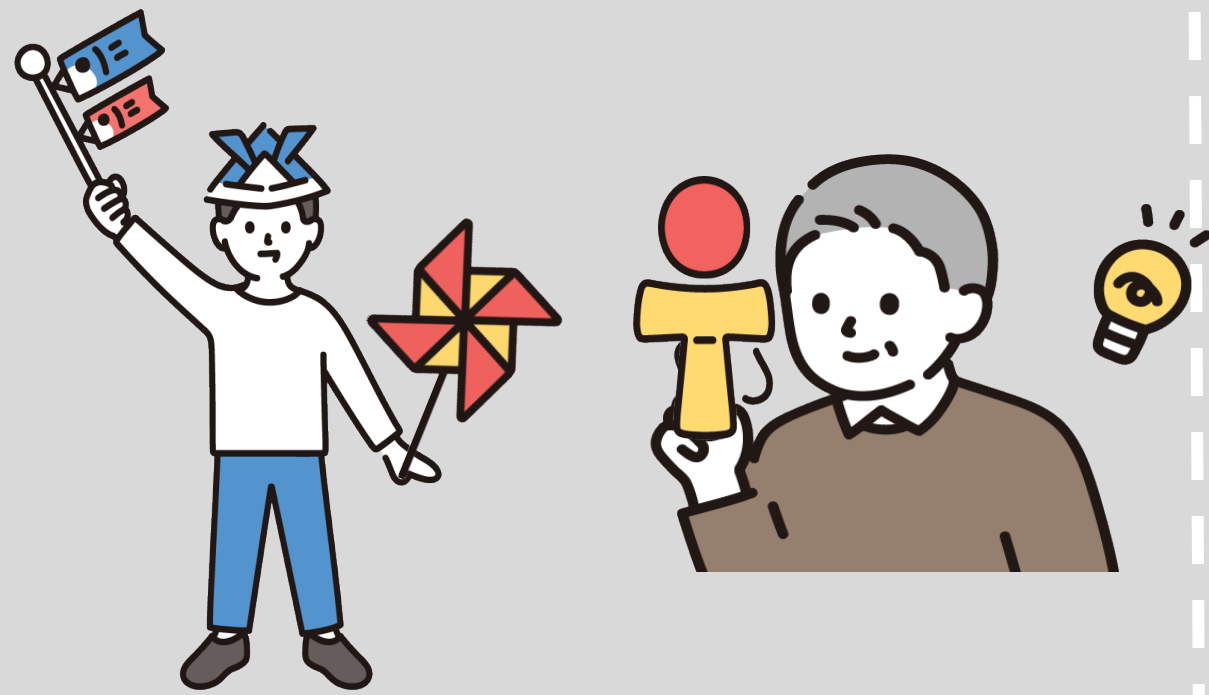
繋がる

イベント内容
世代間連携の取り組み
(複合施設にて)

- ・大学生×小学生
⇒平成遊びや勉強

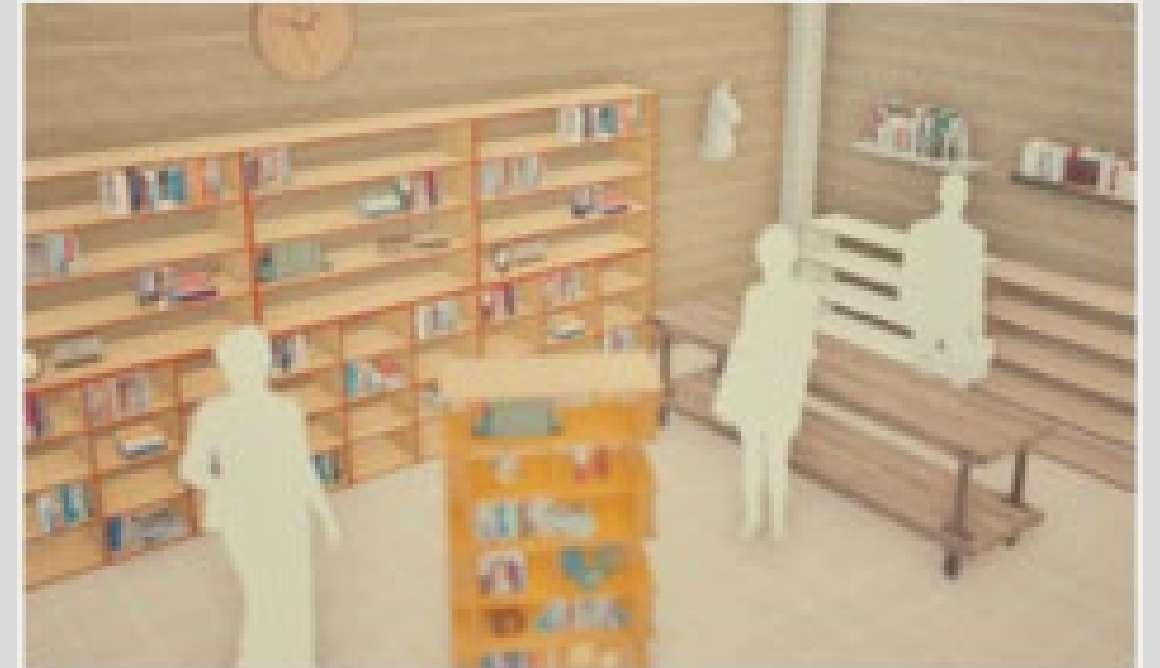


- ・高齢者×小学生
⇒昔遊びやおもちゃで遊ぶ

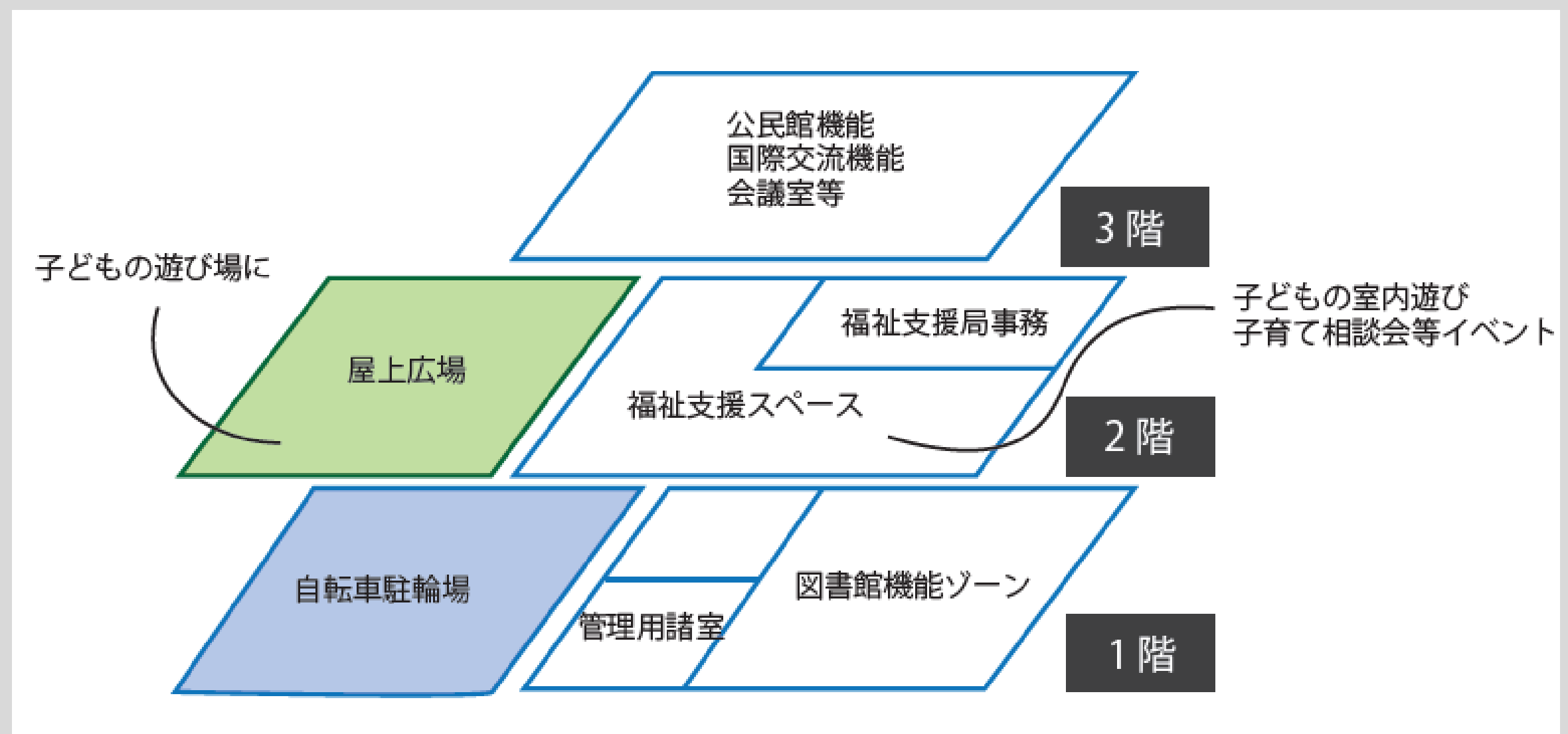


- ・高齢者×親世代
⇒子育て等の経験談の共有

- 【市役所】
場所提供・運営
- 【大学生】
子供の遊び相手
- 【高齢者】
昔遊びの伝授
- 【子供】
多世代の遊びを経験
- 【親世代】
子育ての経験をさらに
下の世代へ教える



多世代交流イベントイメージ



複合施設活用例

【 将来像 ： 循環サイクルの形成 】

『知る』

⇒情報が自然と入ってくる環境づくり
情報を仕入れやすい
地域コミュニティの形成

知る

興味を
持つ

『興味を持つ』

⇒情報を知るだけに留まらない
もっと調べる・もっと聞く

『参加する』

⇒子育て相談へ“悩み相談”で参加
フリーマーケットへ行ってみる
イベントへ行ってみる

参加
する

『運営する』

⇒子育て相談へ“先輩ママ(パパ)”で参加
フリーマーケットへ行ってみる
イベントへ行ってみる

運営
する

発信
する

『発信する』

⇒新しい世代への情報発信
さらに多くの人へ興味を持って
もらえるように情報を発信

移る

年代が変わっても次の世代へと移り変わっていくコミュニティが生まれる